兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	国語	科　　目	現代文Ｂ	単位数	２
学年	３学年	履修対象	理系全員		
教科書・副読本等	『改訂版 現代文Ｂ』（桐原書店）、『プレミアムカラー国語便覧』（数研出版）、『大学入試　最新国語頻出問題』（文英堂）				
科目の到達目標	１ 文章を理解する力および理解したことを論理的に伝える力を伸ばす ２ 様々な文章に触れ、我が国の言語文化に対する理解を深める ３ 能動的、協力的な学習態度を養う	評価の方法	・定期考査、課題考査 ・提出物 ・小テスト ・学習状況の観察、発表 以上を総合的に判断して評価する		
履修上の注意・選択事項	予習、復習を行うこと。 グループ学習に積極的に参加すること。 課題は期限を守り提出すること。 【評価母集団】３学年理系				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	**小説** 『檸檬』 梶井基次郎 **評論** 「であることとすること」丸山真男	登場人物の言動・心理を読み取り、主人公にとっての「檸檬」の意味を理解し、自分にとっての「檸檬」とは何か、考える。 「である」と「する」という二つの図式に着目して筆者が述べる明晰な論理を理解し、筆者が使用する語句の意味を正しくとらえる。私たちの社会のさまざまな領域に「非近代」「過近代」という課題があることを理解する。
２学期	**小説** 『舞姫』森鷗外 **評論** 「市民社会化する家族」今村仁司	時代背景に注意しながら、主人公の心の葛藤を読み取り、人間の生き方について考える。 「家族」のあり方の推移をグラフも参照しながら読み取り、わたしたちが生きる現代において「家族」がどのような問題を孕み、文学作品ではどのように描かれているのかを考察する。
３学期	**評論** 「普遍性」 茂木健一郎 「ポストモダンと排除社会」東浩紀	現代社会についての両者の論を読み比べ、ポストモダンの社会に生きる人々にとって「多様性」をどのように考え、尊重していくことができるのかを考察する。

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	国語	科　　目	現代文Ｂ	単位数	3
学年	３学年	履修対象	文系・ＬＡＣ　全員		
教科書・副読本等	『改訂版 現代文Ｂ』（桐原書店）『プレミアムカラー国語便覧』（数研出版） 『大学入試　最新国語頻出問題』（文英堂）				
到達目標	１ 文章を理解する力および理解したことを論理的に伝える力を伸ばす ２ 様々な文章に触れ、我が国の言語文化に対する理解を深める ３ 能動的、協力的な学習態度を養う	評価の方法	・定期考査、課題考査 ・提出物 ・小テスト ・学習状況の観察、発表 以上を総合的に判断して評価する		
履修上の注意・選択事項	予習、復習を行うこと。 グループ学習に積極的に参加すること。 課題は期限を守り提出すること。 【評価母集団】３学年文①および文②、国際教養コース				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	**評論解析Ｂ** １「物語」としての伝統／西江雅之 ２「資本」の出現／大沢真幸 ３博物館というメディア／村田麻里子 ４現実・相貌・物語／野矢繁樹 **小説** 『檸檬』 梶井基次郎 **評論** 「であることとすること」丸山真男	短く抜粋された本文を読み、筆者の見解とそれを支える根拠をつかみ、対比構造や具体例の効果にも注目するという「評論の読解方法」を確認する。 登場人物の言動・心理を読み取り、主人公にとっての「檸檬」の意味を理解し、自分にとっての「檸檬」とは何か、考える。 「である」と「する」という二つの図式に着目して筆者が述べる明晰な論理を理解し、筆者が使用する語句の意味を正しくとらえる。私たちの社会のさまざまな領域に「非近代」「過近代」という課題があることを理解する。
2学期	**小説** 『舞姫』森鷗外 **評論** 「市民社会化する家族」今村仁司	時代背景に注意しながら、主人公の心の葛藤を読み取り、人間の生き方について考える。 「家族」のあり方の推移をグラフも参照しながら読み取り、わたしたちが生きる現代において「家族」がどのような問題を孕み、文学作品ではどのように描かれているのかを考察する。
3学期	**評論** 「普遍性」 茂木健一郎 「ポストモダンと排除社会」東浩紀	現代社会についての両者の論を読み比べ、ポストモダンの社会に生きる人々にとって「多様性」をどのように考え、尊重していくことができるのかを考察する。

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	国語	科　　目	古典Ｂ	単位数	2
学年	３年	履修対象	理系		
教科書・副読本等	『精選古典Ｂ古文編・漢文編』（東京書籍） 『新精選古典文法』（東京書籍）『精選漢文』（尚文出版）『国語便覧』（数研出版）				
科目の到達目標	古典の文章を的確に読解する能力を養うことを通じて、ものの見方・感じ方・考え方を広げ、古典についての理解・関心を深めてその価値を自ら考察する態度を育てる。	評価の方法	・定期考査・課題考査 ・提出物 ・小テスト ・授業への取り組み、発表、発言 以上を総合的に判断して評価する。		
履修上の注意事項	１学習課題を理解したうえで授業に主体的に参加すること。 ２予習・復習に継続して取り組み、学習内容の定着に努めること。 ３課題は期限を守り提出すること。 【評価母集団】３学年理系				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	源氏物語 「須磨の秋」 「荻の上露」 漢詩 李白と杜甫 紫式部日記 「浮きたる世」 和泉式部日記 「夢よりはかなき世の中を」 十八史略 「赤壁之戦」	・物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を味わう。 ・和歌に表れる詠み手の心情を理解する。 ・文法事項を正確に理解し、的確な解釈を行う。 ・二人の詩人の表現に親しみ、それぞれの特徴について理解を深める。 ・筆者の置かれた状況や物事に対する態度、考え方を読み取る。 ・日記文学の特徴を理解する。 ・史話を読み、古代中国の歴史や登場人物の行動の仕方・考え方を読み取る。 ・句法や用字を理解し、的確に本文を読解する。
２学期	堤中納言物語 史記 「韓信伝」 無名草子 「清少納言」 「紫式部」 無名抄 「おもて歌のこと」 諸子百家 「論語」	・物語の構成・趣向を理解する。 ・登場人物の心情の変化を読み取る。 ・中国の歴史書における登場人物の行動と心情を読み取り、司馬遷の描く人間の生き方について理解を深める。 ・筆者が捉えたそれぞれの人物像を把握する。 ・古文における評論というジャンルについて整理し理解する。 ・和歌に対する当時の歌人たちのそれぞれの理解の仕方や詠歌の姿勢を読み取る。 ・和歌文学の成果としての歌論を味わう。 ・「論語」に見られる儒家の政治思想を理解する。 ・句法や用字に注意し、的確に本文を読解する。
３学期	問題演習 文学史	・学習を振り返り、演習を通して知識や読解力を定着させる。

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	国語	科　　目	古典Ｂ	単位数	4
学年	３年	履修対象	文系①		
教科書・副読本等	『精選古典Ｂ古文編・漢文編』（東京書籍） 『新精選古典文法』（東京書籍）『精選漢文』（尚文出版）『国語便覧』（数研出版）				
科目の到達目標	古典の文章を的確に読解する能力を養うことを通じて、ものの見方・感じ方・考え方を広げ、古典についての理解・関心を深めてその価値を自ら考察する態度を育てる。	学習の評価の方法	・定期考査・課題考査 ・提出物 ・小テスト ・授業への取り組み、発表、発言 以上を総合的に判断して評価する。		
履修上の注意事項・選択	１学習課題を理解したうえで授業に主体的に参加すること。 ２予習・復習に継続して取り組み、学習内容の定着に努めること。 ３課題は期限を守り提出すること。 【評価母集団】３学年文①				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	源氏物語 「須磨の秋」 「夜深き鶏の声」 「荻の上露」 漢詩 李白と杜甫 紫式部日記 「浮きたる世」 「日本紀の御局」 和泉式部日記 「夢よりはかなき世の中を」 十八史略 「赤壁之戦」	・物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を味わう。 ・和歌に表れる詠み手の心情を理解する。 ・文法事項を正確に理解し、的確な解釈を行う。 ・二人の詩人の表現に親しみ、それぞれの特徴について理解を深める。 ・筆者の置かれた状況や物事に対する態度、考え方を読み取る。 ・日記文学の特徴を理解する。 ・史話を読み、古代中国の歴史や登場人物の行動の仕方・考え方を読み取る。 ・句法や用字を理解し、的確に本文を読解する。
２学期	堤中納言物語 史記 「韓信伝」 無名草子 「清少納言」 「紫式部」 無名抄 「おもて歌のこと」 諸子百家 「論語」	・物語の構成・趣向を理解する。 ・登場人物の心情の変化を読み取る。 ・中国の歴史書における登場人物の行動と心情を読み取り、司馬遷の描く人間の生き方について理解を深める。 ・筆者が捉えたそれぞれの人物像を把握する。 ・古文における評論というジャンルについて整理し理解する。 ・和歌に対する当時の歌人たちのそれぞれの理解の仕方や詠歌の姿勢を読み取る。 ・和歌文学の成果としての歌論を味わう。 ・「論語」に見られる儒家の政治思想を理解する。 ・句法や用字に注意し、的確に本文を読解する。
３学期	問題演習 文学史	・学習を振り返り、演習を通して知識や読解力を定着させる。

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	国語	科　　目	古典Ｂ	単位数	３
学年	３年	履修対象	文系②・ＬＡＣ		
教科書・副読本等	『精選古典Ｂ古文編・漢文編』（東京書籍） 『新精選古典文法』（東京書籍）『精選漢文』（尚文出版）『国語便覧』（数研出版）				
科目の到達目標	古典の文章を的確に読解する能力を養うことを通じて、ものの見方・感じ方・考え方を広げ、古典についての理解・関心を深めてその価値を自ら考察する態度を育てる。	学習の評価の方法	・定期考査・課題考査 ・提出物 ・小テスト ・授業への取り組み、発表、発言 以上を総合的に判断して評価する。		
履修上の注意事項・選択の	１学習課題を理解したうえで授業に主体的に参加すること。 ２予習・復習に継続して取り組み、学習内容の定着に努めること。 ３課題は期限を守り提出すること。 【評価母集団】３学年文②および国際教養コース				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	源氏物語 「須磨の秋」 「夜深き鶏の声」 「荻の上露」 漢詩 李白と杜甫 紫式部日記 「浮きたる世」 「日本紀の御局」 和泉式部日記 「夢よりはかなき世の中を」 十八史略 「赤壁之戦」	・物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を味わう。 ・和歌に表れる詠み手の心情を理解する。 ・文法事項を正確に理解し、的確な解釈を行う。 ・二人の詩人の表現に親しみ、それぞれの特徴について理解を深める。 ・筆者の置かれた状況や物事に対する態度、考え方を読み取る。 ・日記文学の特徴を理解する。 ・史話を読み、古代中国の歴史や登場人物の行動の仕方・考え方を読み取る。 ・句法や用字を理解し、的確に本文を読解する。
２学期	堤中納言物語 史記 「韓信伝」 無名草子 「清少納言」 「紫式部」 無名抄 「おもて歌のこと」 諸子百家 「論語」	・物語の構成・趣向を理解する。 ・登場人物の心情の変化を読み取る。 ・中国の歴史書における登場人物の行動と心情を読み取り、司馬遷の描く人間の生き方について理解を深める。 ・筆者が捉えたそれぞれの人物像を把握する。 ・古文における評論というジャンルについて整理し理解する。 ・和歌に対する当時の歌人たちのそれぞれの理解の仕方や詠歌の姿勢を読み取る。 ・和歌文学の成果としての歌論を味わう。 ・「論語」に見られる儒家の政治思想を理解する。 ・句法や用字に注意し、的確に本文を読解する。
３学期	問題演習 文学史	・学習を振り返り、演習を通して知識や読解力を定着させる。

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	国語	科目	発展国語	単位数	2
学年	３年	履修対象	文①・ＬＡＣ選択者		
教科書・副読本等					
科目の到達目標	１　評論文、小説を論理的に読み解き、　文章の要旨を的確につかむ ２　古典作品のこれまでの学習内容への理解を深め、発展させる	評価の方法	・定期考査 ・提出物 ・小テスト ・学習状況の観察、発表 以上を総合的に判断して評価する		
履修選択の注意事項	予習、復習を行うこと。 課題は期限を守り提出すること。 【評価母集団】３学年選択者（文①、ＬＡＣ①）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	評論文とは何かを考える 評論文を読む 小説を読む 古典を読む	・評論文とは何か、その定義から始めて、その読解に必要なスキルを学ぶ ・段落相互の関係、対比、具体と抽象、レトリックなどの観点から評論文を読み解く ・接続語や指示語の適切な使い方を学ぶ ・人物関係や心情を把握する方法について学ぶ ・文法、句法を復習しながら、古典作品を読む
2学期	評論文を読む 小説を読む 古典を読む	・段落相互の関係、対比、具体と抽象、レトリックなどの観点から評論文を読み解く ・接続語や指示語の適切な使い方を学ぶ ・人物関係や心情を把握する方法について学ぶ ・文法、句法を復習しながら、古典作品を読む
3学期	評論文を読む 古典を読む	・段落相互の関係、対比、具体と抽象、レトリックなどの観点から評論文を読み解く ・文法、句法を復習しながら、古典作品を読む

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	地理歴史	科　　目	世界史Ａ	単位数	２
学年	３年	履修対象	理系全員、		
教科書・副読本等	『世界史Ａ』（東京書籍）、『明解世界史図説エスカリエ十四訂版』（帝国書院）				
科目の学習目標	自然環境と歴史，日本の歴史と世界の歴史のつながりにかかわる適切な主題を設定し，考察することで地理と歴史への関心を高め，世界史学習の意義に気づかせる。	評価の方法	提出課題、発表、小テスト、定期考査等を総合的に評価		
履修・選択の注意事項	理系は全員選択。 【評価母集団】３学年理系				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第１部　第１章 前近代の諸文明	１東アジアの諸文明 ２南アジアの文明 ３西アジア・北アフリカの文明 ４ヨーロッパの文明 ５南北アメリカの文明 ６ユーラシアの交流
2学期	第１部第２章 一体化に向かう世界 第１部　第３章 欧米の工業化とアジア諸国の動揺 第２部　第１章 現在につながる社会の形成	１繁栄するアジア ・モンゴル帝国のあとにおこった諸大国 ・明・清の繁栄 ２大航海と新たな国家の形成 ・大航海時代の始まり ・ヨーロッパの新しい国際関係 ・イギリスの革命とフランス絶対王政 １ヨーロッパとアメリカの諸革命 ２自由主義・ナショナリズムの進展 ３アジア世界の動揺 １現在につながる社会の形成 ２第一次世界大戦がもたらしたもの ３民族自決を求めて ４経済危機から第二次世界大戦へ
3学期	第２部　第２章 冷戦から地球社会へ	１冷たい戦争の時代 ２冷戦終結への道のり ３地球社会への歩み ４持続可能社会をめざして

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	地理歴史	科　　目	世界史Ｂ	単位数	4
学年	３年	履修対象	文①・文②選択者、ＬＡＣ全員		
教科書・副読本等	『詳説　世界史Ｂ』　（山川出版社） 『アカデミア世界史』（浜島書店） 『世界史　重要語句Ｃｈｅｃｋ　Ｌｉｓｔ』（啓隆社） 『詳説世界史改定版ノート』（山川出版社）				
科目の学習到達目標	欧米近代国民国家が産業革命を経て,資本主義を成熟させていく中で、近代化のおくれたアジアを初めとした諸地域を植民地支配していく課程と、やがて始まる被支配地における民族運動の展開から、今後の国際社会のあり方を各自に考えさせる	評価の方法	提出課題、定期考査、小テスト、授業態度の内容を総合的に評価		
履修・選択の注意事項	【評価母集団】３学年国際教養コースおよび選択者（文①、文②）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第８章　近代ヨーロッパ世界の形成 第９章　ヨーロッパ主権国家の展開 第１０章　近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 第１１章　欧米における近代国民国家の発展	・近代国家の原型となった主権国家体制の特色と，体制の形成に向かうヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を理解する。 ・ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解する。 ・イギリス産業革命の背景と展開，産業資本主義体制の確立とその影響について理解する。 ・アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。 ・ウィーン体制の成立と，その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する。 ・インドの植民地化とその社会の変貌，東南アジア諸国の植民地化の過程を理解する。
2学期	第１２章　アジア諸地域の動揺 第１３章　帝国主義とアジアの民族運動 第１４章　二つの世界大戦 第１５章　冷戦と第三世界の独立 第１６章　現在の世界	・中国分割の危機と辛亥革命，インド，東南アジア，西アジアにおける民族運動の形成に関する基本的な知識を身につけている。 ・日露戦争や韓国併合にみられる近代日本の台頭に関する基本的な知識を身につける。 ・第二次世界大戦におけるヨーロッパから太平洋にいたる戦場の広域化や核兵器の使用といった残虐行為など，戦争の惨禍に関する基本的な知識を身につける。 ・帝国主義の時代からグローバル化した「世界」が成立した現代までの歴史に関する基本的な知識を身につけ，その課題から21世紀の世界を展望する。 ・世界の課題に関する主題を設定し，選択したその時代の資料を活用して探求し，表現する技能を身につける。
3学期	全範囲	問題演習・復習

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	地理歴史	科　　目	日本史Ｂ	単位数	4
学年	３年	履修対象	文①・文②選択者		
教科書・副読本等	『日本史Ｂ』（山川出版社）、『図説日本史通覧』（帝国書院）、 『日本史重要語句チェックリスト』（啓隆社）、 『改訂版４ステージ演習ノート日本史Ｂ』（数研出版）				
科目の学習到達目標	１　日本史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させる。 ２　日本の文化と伝統の特色についての認識を深めさせる。 ３　歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。	評価の方法	提出課題、小テスト、定期考査等を総合的に評価		
履修・選択の注意事項	文系生徒で２年次に日本史Ｂを選択した者。 【評価母集団】３学年選択者（文系）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	第９章 近代への転換 第１０章 近代国家の形成	・日本開国の世界史的背景に留意しながら、開国の衝撃を契機として幕末の政治的激動が進行した過程を理解させる。 ・立憲政をめぐる自由民権運動と藩閥政府との対抗関係の歴史を考察し、成立した明治憲法体制の特質を理解させる。 ・日清・日露の両戦争を世界史的背景をもとに理解し、この間に進行した政治構造の変化について考察させる。 ・欧米文化の模倣と導入からはじまった日本の近代文化がどのように展開したのか、様々な分野について考察させる。
２学期	第１１章 両大戦間の日本と市民文化 第１２章 十五年戦争と日本 第１３章 現代の日本と新しい文化	・第一次世界大戦の原因と経過、その世界史的意義をとらえ、日本が大戦にどのように対応したのか、また、大戦が日本経済に及ぼした影響について考えさせる。 ・第１次護憲運動から第２次護憲運動にいたる政党政治の成立過程を理解すると同時に、政党内閣の内外の課題への対応がどのような特質を有していたか考えさせる。 ・満州事変が日本の国際的孤立をまねいたと同時に、政党政治が終焉し軍国主義への道に進む契機となったことを理解させる。 ・アジア・太平洋戦争の開戦にいたる経緯を当時の国際情勢とあわせて理解するとともに、アジア・太平洋戦争の現実について考えさせる。 ・非軍事化と民主化を要とする占領政策が戦後日本の政治・社会・経済の基礎を築いたこと、国民が積極的に受け入れることによって戦後改革が実現したことを理解させる。
３学期	問題演習	総合問題を解く(演習)

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	地理歴史	科　　目	地理Ｂ	単位数	２
学年	３年	履修対象	理系選択者		
教科書・副読本等	『新詳地理Ｂ』・『新詳高等地図』・『新編地理資料２０２３』（とうほう）				
科目の到達目標	現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて考察し、地理的認識を養う。地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる個人としての自覚と資質を養う。	評価の方法	提出課題、小テスト、定期考査等を総合的に評価		
履修事項・選択注意	２年、３年の継続履修となります。 【評価母集団】３学年理系				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	Ⅰ人口,村落,都市 １世界の人口 ２人口問題 ３村落と都市 ４都市居住問題	〈主な学習内容〉 ・人間の居住がほとんど見られない地域はどのような自然環境のところかを考える。 ・人口増加率の高い国や地域はどのあたりに集中しているかを理由も含めて考える。 ・日本の高齢化の進行が諸外国と比べて速いことに着目し考察していく。 ・先進国では、高齢化と合わせて少子化が進行していることを読み取っていく。 〈評価のポイント〉 a:人口問題に関心を持ち、世界各地の動向を読み取る。 b:地図などを用い地域の特性について適切に表現する。 c:集落の過疎化について、地方の例を取り上げ、まとめたり、読み取りができる。 d:村落の形態や機能を学び、生活に生かしていく知識を身に付けている。
２学期	Ⅰ生活文化、民族・宗教 １世界の衣食住 ２民族と宗教 ３現代世界の国家 ４民族・領土問題	〈主な学習内容〉 ・伝統的な衣類の地域における特性を自然環境と組み合わせてその特徴について考察する。 ・世界各地の食べ物と気候との繋がりをその関係性について考察する。 ・木、土、石など家屋に用いられるその材料について、各地の気候帯とそこに居住する人々の生活の特徴について理解する。 ・日本の自然の特徴と人々の生活について理解する。 〈評価のポイント〉 a:自然環境への関心が高まっている。 b:生活環境について地域性などと関連付けながら適切に表現する c:地域性などと関連付けながら地図を読み取ったり、図表にまとめたりできる。 d: 生活文化、民族、宗教などの知識を身につけている。
３学期	Ⅰ現代世界の地域区分 １地域区分とは何か Ⅱ現代世界の諸地域 １地域の考察方法 ２世界各国と日本との結びつき	〈主な学習内容〉 ・共通性や関連性をもついくつかのまとまりのある地域に分けて捉えていく。 ・多様な事象を項目ごとにいかに効率よく、分かりやすくまとめるかを工夫する。 〈評価のポイント〉 a:世界の諸地域について関心が高まっている。 b:世界の諸地域について整理して表現している。 c:世界の諸地域について地図を読み取り図表にまとめたりできる

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	地理歴史	科　　目	発展世界史Ｂ	単位数	２
学年	３年	履修対象	文①・文②・ＬＡＣ選択者		
教科書・副読本等	『詳説　世界史Ｂ』（山川出版社）『アカデミア世界史』（浜島書店） 『世界史　重要語句Ｃｈｅｃｋ　Ｌｉｓｔ』（啓隆社） 『新世界史研究ノート［応用編］』（啓隆社）				
到達目標	科目の学習	生徒にとって既習であることがら、あるいは生徒が興味・関心を抱き知識を持っていることがらを学習することで、世界史に対する知識・情報の量・質ともに向上させ、世界史全般に対する対応能力を高める。	評価の方法	提出物（授業プリント、課題など） 中間・期末考査の成績 小テスト 授業に対する意欲 上記を総合的に評価。	
履修選択の注意事項		【評価母集団】３学年選択者（文①、文②、国際教養コース）			

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	序章　先史の世界 第１章　オリエントと地中海世界 第２章　アジア・アメリカの古代文明 第３章　内陸アジア世界・東アジア世界の形成 第４章　イスラーム世界の形成と発展 第５章　ヨーロッパ世界の形成と発展 第６章　内陸アジア世界・東アジア世界の展開 第７章　アジア諸地域の繁栄	・自然環境と人類の関わりについて、世界史学習における地理的視点の重要性に気付かせる。日本の歴史と世界の歴史について考察させ、日本の歴史と世界の歴史のつながりに気付かせる。 ・西アジアと地中海一帯の地理的特質、オリエント文明、イラン人の活動、ギリシア・ローマ文明に触れ、西アジア世界と地中海世界の形成過程を把握させる。 ・南アジア世界・東南アジア世界の地理的特質、インダス文明、アーリア人の進入以後の南アジアの文化、社会、国家の発展、東南アジアの国家形成に触れ、南アジア世界・東南アジア世界の形成過程を把握させる。 ・東アジアの地理的特質、中華文明の起源と秦・漢帝国に触れ、この時期の東アジア世界の形成過程を把握させる。 ・東アジアにおける北方民族の動向と分裂の時代、唐帝国と東アジア諸民族の活動に触れ、日本を含むこの時期の東アジア世界の形成過程を把握させる。 ・アラブ人とイスラーム帝国の発展、トルコ系民族の活動、アフリカ・南アジアのイスラーム化に触れ、イスラーム世界の形成と拡大の過程を把握させる。 ・ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向、西ヨーロッパの封建社会の成立と変動に触れ、キリスト教徒ヨーロッパ世界の形成と展開の過程を把握させる。 ・内陸アジア諸民族と宋の抗争、モンゴル帝国の興亡とユーラシア諸地域世界や日本の変動に触れ、内陸アジア諸民族が諸地域世界の交流と再編に果たした役割を把握させる。 ・西アジア・南アジアのイスラーム諸帝国や東南アジア海域の動向、明・清帝国と日本や朝鮮などとの関係を扱い、１６世紀から１８世紀までのアジア諸地域の特質とその中での日本の位置付けを理解させる。
２学期	第８章　近世ヨーロッパ世界の形成 第９章　近世ヨーロッパ世界の展開 第１０章　近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 第１１章　欧米における近代国民国家の発展 第１２章　アジア諸地域の動揺 第１３章　帝国主義とアジアの民族運動 第１４章　二つの世界大戦	・近代国家の原型となった主権国家体制の特色と，体制の形成に向かうヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を理解する。 ・ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解する。 ・イギリス産業革命の背景と展開，産業資本主義体制の確立とその影響について理解する。 ・アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。 ・ウィーン体制の成立と，その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する。 ・インドの植民地化とその社会の変貌，東南アジア諸国の植民地化の過程を理解する。 ・中国分割の危機と辛亥革命，インド，東南アジア，西アジアにおける民族運動の形成に関する基本的な知識を身につけている。 ・日露戦争や韓国併合にみられる近代日本の台頭に関する基本的な知識を身につける。 ・第二次世界大戦におけるヨーロッパから太平洋にいたる戦場の広域化や核兵器の使用といった残虐行為など，戦争の惨禍に関する基本的な知識を身につける。

	第１５章　冷戦と第三世界の独立 第１６章　現在の世界	・帝国主義の時代からグローバル化した「世界」が成立した現代までの歴史に関する基本的な知識を身につけ，その課題から21世紀の世界を展望する。 ・世界の課題に関する主題を設定し，選択したその時代の資料を活用して探求し，表現する技能を身につける。
３学期	全範囲	問題演習・復習

令和５年度　シラバス

教科	地理歴史	科　　目	発展日本史Ｂ	単位数	２
学年	３年	履修対象	文①・文②選択者		
教科書・副読本等	『日本史Ｂ』（山川出版）、『図説日本史通覧』（帝国書院）、『日本史重要語句チェックリスト』（啓隆社）				
科目の到達目標	１　日本史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させる。 ２　日本の文化と伝統の特色についての認識を深めさせる。 ３　歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。 ４　授業で学んだ内容を問に基づいて考えさせ、他者との対話を通してより深い知識として定着させる。			評価方法	提出課題、小テスト、定期考査等を総合的に評価
履修・選択の注意事項	文系生徒で２年に日本史Ｂを選択した者。 【評価母集団】３学年選択者（文①、文②）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	第１章 日本文化のあけぼの 第２章 水稲農業の開始と社会生活の進展 第３章 東アジア文化の影響と律令制度の成立 第４章 摂関政治と国風文化 第５章 中世社会の成立と文化の新機運 第６章 武家社会の展開と室町文化 第７章 幕藩体制の展開と近世の文化 第８章 幕藩体制の動揺と文化の成熟	・旧石器時代や縄文時代の人びとの生活・文化を学ぶ。 …旧石器・縄文時代の社会について資料などにより考察する ・弥生時代の人びとの政治・生活・文化を学ぶ …弥生時代からヤマト政権の統一過程について東アジアを視野において諸資料をもとに考察する ・東アジア世界との関係と大陸から伝わった、制度や文化を学ぶ。 …飛鳥時代から奈良時代の政治動向、社会・文化について東アジア世界との関連に留意し諸資料をもとに考察する．文化の特質を資料を活用して説明できる ・平安遷都や貴族政治、国際関係の変化とその影響を学ぶ。 …平安時代の政治の動向、地方政治の変容、摂関政治の確立などについて諸資料をもとに考察する．文化の特質を資料を活用して説明できる ・荘園公領制の形成と院政の展開、さらに平氏政権の成立などを学ぶ …荘園公領制および武士団の形成について理解している．院政から平氏政権、鎌倉幕府の成立・発展・衰微にいたる政治動向、社会・経済および文化について諸資料をもとに考察する．文化の特質を資料を活用して説明できる ・武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽、地方での文化の普及の様相を学ぶ …建武の新政、南北朝の動乱、室町幕府の成立について，琉球や蝦夷地との関係を含めて世界史的視野から理解している．惣村や自治都市の発展などを諸資料をもとに考察する．文化の特質を資料を活用して説明できる． ・ヨーロッパ人の来航と外来文化の受容がそれ以後の日本の歴史に果たした役割や意義を学ぶ …大航海時代を背景とした文化の伝来の意義・影響について考察する ・織豊政権の統一過程、江戸幕府の成立から幕藩体制の確立にいたる過程、桃山文化・寛永文化の特色を学ぶ …政治の動向を諸資料をもとに多面的に考察する．文化の特質を資料を活用して説明できる ・欧米列強のアジア進出とその対応の変化が幕藩体制やその政策に及ぼした影響について学ぶ …文治政治への転換、綱吉の治世、三大改革などの特質について考察する。世界の情勢をふまえて幕藩体制の動揺について考察する．経済の発展について地域的特色や産業ごとの特質について考察する．元禄文化および化政文化の特色を資料を活用して説明できる
２学期	第９章 近代への転換 第１０章 近代国家の形成 第１１章 両大戦間の日本と	・日本開国の世界史的背景に留意しながら、開国の衝撃を契機として幕末の政治的激動が進行した過程を理解させる。 ・立憲政をめぐる自由民権運動と藩閥政府との対抗関係の歴史を考察し、成立した明治憲法体制の特質を理解させる。 ・日清・日露の両戦争を世界史的背景をもとに理解し、この間に進行した政治構造の変化について考察させる。 ・欧米文化の模倣と導入からはじまった日本の近代文化がどのように展開したのか、様々な分野について考察させる。 ・第一次世界大戦の原因と経過、その世界史的意義をとらえ、日本が大戦にどのように対応したのか、また、大戦が日本経済に及ぼした影響について考えさせる。

	市民文化 第１２章 十五年戦争と日本 第１３章 現代の日本と新しい文化	・第１次護憲運動から第２次護憲運動にいたる政党政治の成立過程を理解すると同時に、政党内閣の内外の課題への対応がどのような特質を有していたか考えさせる。 ・満州事変が日本の国際的孤立をまねいたと同時に、政党政治が終焉し軍国主義への道に進む契機となったことを理解させる。 ・アジア・太平洋戦争の開戦にいたる経緯を当時の国際情勢とあわせて理解するとともに、アジア・太平洋戦争の現実について考えさせる。 ・非軍事化と民主化を要とする占領政策が戦後日本の政治・社会・経済の基礎を築いたこと、国民が積極的に受け入れることによって戦後改革が実現したことを理解させる。
３学期	問題演習	総合問題を解く(演習)

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２
学年	３年	履修対象	ＬＡＣ選択者		
教科書・副読本等	『高校　現代社会』（実教出版） 『ライブ！２０２３　公共、現代社会を考える』（帝国書院）				
科目の到達目標	現代社会の基本的な問題について主体的に考え、公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方・生き方について考える力を養う。	学習の評価方法	しっかりプリントを記入し、発問に答えるなど、積極的に授業に参加できているか。 現代の諸問題が、なぜそうなったのか、因果関係などを考え、認識を深めることができているか。 他者と共同して課題に取り組み、主体的に学ぶことができているか。 これらを授業プリント、グループワーク、レポート課題、定期考査を用いて総合的に評価する。		
履修・選択の注意事項	【評価母集団】３学年選択者（国際教養コース）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	第１編　第１章 地球環境を考える 第１編　第２章 科学技術の発達と生命 第２編　第１章 青年期と自己形成 第2編　第3章 現代の国家と民主政治 第4章 日本国憲法と国民生活	・地球環境、資源エネルギーなどの問題について知り、対策を考える。 生命倫理問題について考える。 ・情報化社会の功罪を考える。 ・青年期について、その特徴を学び、 現代社会と結びつけ、どのように生きていくべきなのか考える。 ・人間の尊厳と平等、自由、権利と責任についてその認識を深める。 ・基本的人権の獲得の歴史について知る。 ・大統領制、議院内閣制、社会主義体制などを比較する。 ・平和主義と安全保障について考える。 ・日本国憲法における基本的人権の保障とさまざまな事件について知る。 ・議会、内閣、裁判所の果たす役割について考える。 ・日本の地方自治制度の特徴と問題点を知る。
２学期	第5章 国際政治の動向 第６章 現代の経済社会と政府の役割 第７章 経済活動のあり方と国民福祉	・世界が抱えている人権や民俗の対立などを理解する。 ・世界の平和のために日本が何を為すべきかを考えさせ理解する。 ・現代の経済について、経済体制、企業形態、市場経済の仕組み、政府の役割、金融機関の働きなどから学習する。 ・戦後の日本経済について、年代を追って特徴や変化を捉え、現代のさまざまな問題（公害問題、消費者問題、社会保障に関する問題、雇用問題など）を学習する。
３学期	第８章 国際経済の動向	・国際経済の仕組みについて理解するとともに、世界各国の様子を理解し、日本の果たすべき役割を考える。

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	公民	科　　目	倫理	単位数	2
学年	３年	履修対象	文①・文②・ＬＡＣ選択者		
教科書・副読本等	『倫理』（東京書籍）・『アプローチ倫理資料PLUS』（とうほう）・『要点マスター倫理演習ノート』（東京書籍）				
科目の到達目標	代表的な先哲の思想などを手がかりとして広い視野に立ち、人間の在り方生き方を自己との関わりから考えることができる	学習評価の方法	定期考査、小テスト、レポート、授業への参加状況などを総合的に判断し評価をおこなう		
履修選択の注意事項	共通テストで公民科目「倫理」または「倫理、政治・経済」を受験する生徒の受講を想定します。 【評価母集団】３学年選択者（文①、文②、国際教養コース）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第１章青年期の課題と自己形成 青年期の意義／青年期の課題と生き方 第２章人間としての自覚 人間とは何か／ギリシャ思想／キリスト教／イスラーム／仏教／中国の思想／芸術と人間	・青年期の特徴を知り、その課題を把握する ・人間存在の特性について理解する。 ・ギリシャ思想への理解を深め、その意義について考える ・世界宗教についてその特色を知り、宗教の意義について考える ・中国古典思想の思想内容を理解し、その意義について考える ・美や芸術の概念を理解し、その意義について考える
2学期	第３章国際社会に生きる日本人の自覚 日本人の精神風土／仏教・儒教と日本人の思想形成／国学・庶民の思想／西洋思想と日本人の近代化／国際社会に生きる日本人の自覚 第４章現代を生きる人間の倫理 人間の尊厳の根拠を求めて／民主社会と自由を求めて／社会変革の倫理を求めて／新たな人間像を求めて／科学技術と人間とのかかわり／民主社会の成熟のために	・日本の風土の特徴を理解するとともに、日本人の生き方について考える ・日本に移入された外来思想が時代とともに変容していく家庭やその内容を理解する ・近代社会の特質をとらえ、発達や進歩の観念について考察する ・近代哲学の成立と発展について理解を深め、理性的主体としての人間の尊厳の考え方が現代にどのように生きつづけているのかについて考察する ・環境問題や生命に関わる倫理的課題について理解を深め考察する ・現代社会における公共性の問題について理解を深め考察する
3学期	第５章現代の課題を考える	・現代の諸課題をこれまでの学習内容をふまえて多面的に考察する ・生命倫理、地球環境問題、家族の抱える諸課題、地域社会の変容による生活の場の抱える諸課題、情報社会における諸課題、グローバル化にともなう諸課題、国際平和に関わる諸課題など、現代社会における現実の諸課題について考察し、人類のめざす方向について考える

令和５年度　シラバス

教科	公民	科　　目	政治・経済	単位数	2
学年	３年	履修対象	文①・ＬＡＣ選択者、文②		
教科書・副読本等	『高校政治・経済』（実教出版） 『政治・経済資料（2023年度用）』（東京法令出版）				
科目の到達目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際社会などについて客観的に理解するとともに、民主政治の本質について把握し、政治についての基本的な見方や考え方を身につける。	学習の評価の方法	授業態度や発問に対する解答、 定期考査の成績、 定期考査ごとに提出されたプリント等を総合的に判断して評価する。		
履修の注意・選択事項	共通テストを中心とした受験に対応した授業を前提としながら、日々の日本の政治・世界の動きに関心を高める。 【評価母集団】３学年選択者（文①、文②、国際教養コース）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第１編 第１章 民主政治の基本原理 第２章 日本国憲法の基本的性格 第３章 日本の政治機構 第４章 現代日本の政治 第５章 現代の国際政治	日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観させるとともに、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察させる。 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。
2学期	第２編 第１章 経済社会の変容 第２章 経済のしくみ 第３章 現代経済と福祉の向上 第４章 世界経済と日本	経済活動の意義、国民経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、現代経済の特質について把握させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。 貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。
3学期	第３編 現代社会の諸課題	少子高齢化社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働を巡る問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食糧問題などについて、政治と経済とを関連させて探求させる。 地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて探求させる。

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	数学	科　　目	数学Ⅱ	単位数	２
学年	３年	履修対象	文①選択者　全員		
教科書・副読本等	『数学ⅡAdvanced』（東京書籍）、『STAGE数学 演習ノート』（東京書籍）				
科目の学習到達目標	数学Ⅱで学べなかった内容をおさえるとともに１、２年生で学んだ内容をより深め、今後の進路に対応する力を身につける。	評価の方法	授業への取り組み、提出課題、発表、定期考査等を総合的に評価		
履修選択の注意事項	提出課題をしっかりこなすこと。定期考査に向けてしっかり努力ができること。 【評価母集団】３学年文①				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	第３章 三角関数 第２節 加法定理 第４章 指数関数・対数関数 第１節 指数関数 第２節 対数関数	 １　加法定理 ２　加法定理の応用 ３　三角関数の合成 １　指数法則 ２　累乗根 ３　指数の拡張 ４　指数関数とそのグラフ １　対数とその性質 ２　対数関数とそのグラフ ３　常用対数
２学期	第５章　微分と積分 第１節 微分係数と導関数 第２節 導関数の応用 第３節 積分法	 １　微分係数 ２　導関数 １　接線 ２　関数の増減と極大・極小 ３　関数の最大・最小 ４　方程式・不等式への応用 １　不定積分 ２　定積分 ３　定積分と面積
３学期	総合問題	総合問題を解く(演習)

令和４年度　シラバス

教科	数学	科　　目	数学Ⅱ	単位数	２
学年	３年	履修対象	文②選択者　全員		
教科書・副読本等	『数学ⅡAdvanced』（東京書籍）、『PRIME 数学Ⅱ＋Ｂ』（東京書籍）、『チャート式 解法と演習 数学Ⅱ＋Ｂ』（数研出版）				
科目の到達目標	数学Ⅱで学べなかった内容をおさえるとともに１、２年生で学んだ内容をより深め、今後の進路に対応する力を身につける。	学習の評価の方法	授業への取り組み、提出課題、発表、定期考査等を総合的に評価		
履修上の注意事項	授業の復習は必ずすること。数学Ⅱの教科書の内容が終了し次第、演習授業を行うが、演習では予習、復習することが前提である。２年次で「数学Ⅱ（基礎）」を選択したものは履修できない。 【評価母集団】３学年文②				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	第４章 指数関数・対数関数 第１節 指数関数 第２節 対数関数 第５章　微分と積分 第１節 微分係数と導関数	 １　指数法則 ２　累乗根 ３　指数の拡張 ４　指数関数とそのグラフ １　対数とその性質 ２　対数関数とそのグラフ ３　常用対数 １　微分係数 ２　導関数
２学期	第５章　微分と積分 第２節 導関数の応用 第３節 積分法 総合問題	 １　接線 ２　関数の増減と極大・極小 ３　関数の最大・最小 ４　方程式・不等式への応用 １　不定積分 ２　定積分 ３　定積分と面積 総合問題を解く(演習)
３学期	総合問題	総合問題を解く(演習)

令和５年度　シラバス

教科	数学	科　　目	数学Ⅱ（基礎）	単位数	２
学年	３年	履修対象	ＬＡＣ　選択者		
教科書・副読本等	『数学ⅡAdvanced』（東京書籍）、『STAGE数学 演習ノート』（東京書籍）				
科目の学習到達目標	数学Ⅱで学べなかった内容をおさえるとともに１、２年生で学んだ内容をより深め、今後の進路に対応する力を身につける。	評価の方法	授業への取り組み、提出課題、発表、定期考査等を総合的に評価		
履修選択の注意事項	提出課題をしっかりこなすこと。定期考査に向けてしっかり努力ができること。 ２年次で「数学Ⅱ（基礎）」を選択した者は必ず履修する。ただし、２年次で「数学Ⅱ」を選択した者も履修することができる。 【評価母集団】３学年ＬＡＣ①				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	第３章 三角関数 第１節 三角関数 第２節 加法定理 第４章 指数関数・対数関数 第１節 指数関数 第２節 対数関数	 １　一般角 ２　三角関数 ３　三角関数の性質 ４　三角関数のグラフ ５　三角関数の応用 １　加法定理 ２　加法定理の応用 ３　三角関数の合成 １　指数法則 ２　累乗根 ３　指数の拡張 ４　指数関数とそのグラフ １　対数とその性質 ２　対数関数とそのグラフ ３　常用対数
２学期	第５章　微分と積分 第１節 微分係数と導関数 第２節 導関数の応用 第３節 積分法	 １　微分係数 ２　導関数 １　接線 ２　関数の増減と極大・極小 ３　関数の最大・最小 ４　方程式・不等式への応用 １　不定積分 ２　定積分 ３　定積分と面積
３学期	総合問題	総合問題を解く

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	数学	科　　目	数学Ⅱ	単位数	3
学年	３年	履修対象	ＬＡＣ　選択者		
教科書・副読本等	『数学ⅡAdvanced』（東京書籍）、『PRIME 数学Ⅱ＋Ｂ』（東京書籍）、『チャート式 解法と演習 数学Ⅱ＋Ｂ』（数研出版）				
科目の到達目標	数学Ⅱで学べなかった内容をおさえるとともに１、２年生で学んだ内容をより深め、今後の進路に対応する力を身につける。	学習の評価の方法	授業への取り組み、提出課題、発表、定期考査等を総合的に評価		
履修上の注意事項	授業の復習は必ずすること。数学Ⅱの教科書の内容が終了し次第、演習授業を行うが、演習では予習、復習することが前提である。２年次で「数学Ⅱ（基礎）」を選択したものは履修できない。 【評価母集団】３学年ＬＡＣ②				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第３章 三角関数 第２節 加法定理 第４章 指数関数・対数関数 第１節 指数関数 第２節 対数関数 第５章　微分と積分 第１節 微分係数と導関数	 1　加法定理 2　加法定理の応用 3　三角関数の合成 1　指数法則 2　累乗根 3　指数の拡張 4　指数関数とそのグラフ 1　対数とその性質 2　対数関数とそのグラフ 3　常用対数 1　微分係数 2　導関数
2学期	第５章　微分と積分 第２節 導関数の応用 第３節 積分法 総合問題（演習）	 1　接線 2　関数の増減と極大・極小 3　関数の最大・最小 4　方程式・不等式への応用 1　不定積分 2　定積分 3　定積分と面積 総合問題を解く（演習）
3学期	総合問題	総合問題を解く(演習)

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	数学	科　　目	数学Ⅲ	単位数	5
学年	３年	履修対象	理系　全員		
教科書・副読本等	『数学ⅢAdvanced』（東京書籍）、『PRIME 数学Ⅲ』（東京書籍） 『チャート式 解法と演習 数学Ⅲ』（数研出版）				
到達目標	科目の学習	極限、微分法及び積分法とその応用についての理解を深め、知識の習得と技術の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。	評価の方法	授業への取り組み、提出課題、発表、小テスト、定期考査等を総合的に評価	
履修上の注意事項	理系は全員選択。数学Ⅲまで課す大学を志望するかどうかでクラスを分けて授業する。 単位数が５単位であるため授業進度は速い。復習を欠かさず行い、課題をしっかりこなすこと。 【評価母集団】３学年理系				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第２章　式と曲線 第１節　２次曲線 第２節 媒介変数表示と極座標	1　放物線　2　楕円　3　双曲線 4　２次曲線の平行移動　5　２次曲線と直線　6　２次曲線の性質 7　曲線の媒介変数表示　8　極座標と極方程式　9　コンピュータの利用
	第３章　関数	1　分数関数　2　無理関数　3　逆関数と合成関数
	第４章　極限 第１節　数列の極限 第２節　関数の極限	1　数列の極限　2　無限等比数列　3　無限級数　4　関数の極限(1) 5　関数の極限(2)　6　三角関数と極限　7　関数の連続性
	第５章　微分法 第１節　導関数 第２節　いろいろな関数の導関数	1　微分係数と導関数　2　導関数の計算　3　いろいろな関数の導関数 4　第n次導関数　5　曲線の方程式と導関数
	第６章　微分法の応用 第１節　導関数の応用 第２節　いろいろな応用	1　接線の方程式　2　平均値の定理　3　関数の値の変化 4　関数のグラフ　5　方程式、不等式への応用　6　速度と加速度 7　近似値
2学期	第７章 積分法とその応用 第１節 不定積分 第２節 定積分 第３節 積分法の応用	1　不定積分とその基本性質　2　置換積分法と部分積分法 3　いろいろな関数の不定積分　4　定積分とその基本性質 5　置換積分法と部分積分法　6　定積分のいろいろな問題 7　面積　8　体積 9　道のり　１０　曲線の長さ
3学期	総合問題	総合問題を解く(演習)

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	数学	科　　目	発展数学	単位数	２
学年	３年	履修対象	理系選択者		
教科書・副読本等	数学Ⅰ・数学Ａ・数学Ⅱ・数学ＢAdvanced（東京書籍）、『チャート式　解法と演習　数学Ⅰ+A　Ⅱ+B』（数研出版）、『キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編（数研出版）』				
科目の学習到達目標	１、２年生で学んだ内容をより深め、受験に対応する力を身につける。 進度によっては、数Ⅲで学んだ内容の演習にも取り組む。	評価の方法	授業ノート、提出課題、発表、定期考査等を総合的に評価		
履修選択の注意事項	演習を行うため予習、復習することが前提である。 【評価母集団】３学年選択者（理系）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	数学Ⅰ・Ａ・Ⅱ・Ｂ	分野を意識することなく総合的に演習を行っていく（１つの分野に限定せず、問題を多角的に見れるよう指導する）　→大学入学共通テストに対応する力もつけていく 数Ⅰ：数と式、2次関数、図形と計量、データ分析 数Ａ：場合の数と確率、図形の性質、整数の性質 数Ⅱ：式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法と積分法 数Ｂ：平面上のベクトル、空間のベクトル、数列
２学期	数学Ⅰ・Ａ・Ⅱ・Ｂ・	分野を意識することなく総合的に演習を行っていく（１つの分野に限定せず、問題を多角的に見れるよう指導する）　→大学入学共通テストに対応する力もつけていく 数Ⅰ：数と式、2次関数、図形と計量、データ分析 数Ａ：場合の数と確率、図形の性質、整数の性質 数Ⅱ：式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法と積分法 数Ｂ：平面上のベクトル、空間のベクトル、数列
３学期	総合問題	総合問題を解く(演習)

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	数学	科　　目	発展数学	単位数	2
学年	３年	履修対象	文①、文②、ＬＡＣ①選択者		
教科書・副読本等	『数学Ⅰ・数学Ａ　Advanced』（東京書籍）、『チャート式　解法と演習　数学Ⅰ+A』（数研出版）、『（旧課程）リンク　数学演習Ⅰ・Ａ受験編』（数研出版）				
科目の到達目標	１、２年生で学んだ内容をより深め、受験に対応する力を身につける。	評価の方法	授業ノート、提出課題、発表、定期考査等を総合的に評価		
履修選択の注意事項	演習を行うため予習、復習することが前提である。 【評価母集団】３学年選択者（文①、文②、国際教養コース）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	数学Ⅰ・Ａ 数と式 2次関数 場合の数と確率 図形の性質	分野を意識することなく総合的に演習を行っていく（１つの分野に限定せず、問題を多角的に見れるよう指導する）　→大学入学共通テストに対応する力も視野に入れる。
2学期	図形と計量 データ分析 整数の性質	分野を意識することなく総合的に演習を行っていく（１つの分野に限定せず、問題を多角的に見れるよう指導する）　→大学入学共通テストに対応する力も視野に入れる。
3学期	総合問題	総合問題を解く（演習）

令和５年度　シラバス

教科	数学	科　　目	数学探究	単位数	2
学年	３年	履修対象	文②全員、ＬＡＣ②選択者		
教科書・副読本等	『数学Ⅰ・数学Ａ・数学Ⅱ・数学ＢAdvanced』（東京書籍）、『チャート式　解法と演習　数学Ⅰ+A・Ⅱ+B』（数研出版）、『攻略！共通テストPick Up128数学Ⅰ+A,Ⅱ+B』（東京書籍）				
科目の学習到達目標	数学Ⅱで学べなかった内容をおさえるとともに１、２年生で学んだ内容をより深め、今後の進路に対応する力を身につける。	評価の方法	授業の取り組み、提出課題、発表、定期考査等を総合的に評価		
履修・選択の注意事項	演習であるため、予習・復習することが前提である。 【評価母集団】３学年選択者（文②、国際教養コース）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	総合問題 （主に数学Ⅱ、Ｂの演習）	総合問題を解く(演習) 分野を意識することなく総合的に演習を行っていく（１つの分野に限定せず、問題を多角的に見れるよう指導する）　→　大学入学共通テストに対応する力をつけていく
２学期	総合問題 （主に数学Ⅱ、Ｂの演習）	総合問題を解く(演習) 分野を意識することなく総合的に演習を行っていく（１つの分野に限定せず､問題を多角的に見れるよう指導する）　→　大学入学共通テストに対応する力をつけていく
３学期	総合問題	総合問題を解く(演習)

令和５年度　シラバス

教科	理科	科　　目	物理	単位数	3
学年	3年	履修対象	理系選択者		
教科書・副読本等	『総合物理２』（数研出版）・『セミナー物理基礎＋物理』（第一学習社）				
科目の到達目標	自然の事物・現象に関する探究心を高め，目的意識をもって観察・実験などを行い，基本的な原理・法則を系統的に理解し，自然を探求する能力と態度を身につけ，自然界の事物・現象を分析的，総合的に考察する能力を養う	評価の方法	主に以下の項目によって評価する ・定期考査 ・実験レポート ・小テスト ・課題提出状況		
履修上の注意事項	理学部や工学部の機械・電気（電子）・建築・情報などの学科に進学を希望する人は必ず選択すること。 【評価母集団】３学年選択者（理系）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	電気と磁気 ・電場 ・電流 ・電流と磁場	 静電気力　電場　電位　物質と電場　コンデンサー オームの法則　直流回路　半導体 磁場　電流のつくる磁場　電流が磁場から受ける力 ローレンツ力
2学期	電気と磁気 ・電磁誘導と電磁波 原子 ・電子と光 ・原子と原子核 総合演習	 電磁誘導の法則　交流の発生　自己誘導と相互誘導　交流回路 電磁波　　抵抗率の温度変化の観察実験 電子　光の粒子性　X線　粒子の波動性 原子の構造とエネルギー準位　原子核　放射線とその性質 核反応と核エネルギー　素粒子
3学期	総合演習	過去の入試問題を含めた総合演習を行う。

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	理科	科　　目	化学	単位数	4
学年	３年	履修対象	理系全員		
教科書・副読本等	『新編　化学』				
科目の学習到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，化学的に探究する能力と態度を育てるとともに，化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。	評価の方法	授業ノート、提出課題、発表、小テスト、定期考査等を総合的に評価		
履修選択の注意事項	全員が履修する。 課題を中心とした家庭学習をしっかりと行うこと。 【評価母集団】３学年理系				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第1編　物質の状態 第4章　溶液	① 溶解とそのしくみ　② 溶解度　③ 希薄溶液の性質　④ コロイド
	第2編　物質の変化 第1章　化学反応とエネルギー	① 化学反応と熱　② 化学反応と光
	第2章　電池と電気分解	① 電池　② 電気分解
	第3章化学反応の速さとしくみ	① 化学反応の速さ　② 反応条件と反応速度　③ 化学反応のしくみ
	第4章　化学平衡	① 可逆反応と化学平衡　② 平衡状態の変化　③ 電解質水溶液の化学平衡
	第3編　無機物質 第1章　非金属元素	① 元素の分類と周期表　② 水素・貴ガス元素　③ ハロゲン元素 ④ 酸素・硫黄　⑤ 窒素・リン　⑥ 炭素・ケイ素
	第2章　典型金属元素	① アルカリ金属元素　② ２族元素　③ アルミニウム・亜鉛　④ スズ・鉛
	第3章　遷移金属元素	① 遷移元素の特徴　② 鉄　③ 銅　④ 銀　⑤ 金　⑥ クロム ⑦ マンガン　⑧ 金属イオンの分離・確認
2学期	第4編　有機化合物 第1章有機化合物の分類と分析	① 有機化合物の特徴と分類　② 有機化合物の分析
	第2章　脂肪族炭化水素	① 飽和炭化水素　② 不飽和炭化水素
	第3章アルコールと関連化合物	① アルコールとエーテル　② アルデヒドとケトン ③ 脂肪族カルボン酸と酸無水物　④ エステルと油脂
	第4章　芳香族化合物	① 芳香族炭化水素　② フェノール類 ③ 芳香族カルボン酸　④ 芳香族アミンとアゾ化合物　⑤ 有機化合物の分離
3学期	第5編　高分子化合物	①　天然高分子化合物　② 合成高分子化合物

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	理科	科　　目	生物	単位数	3
学年	3年	履修対象	理系選択者		
教科書・副読本等	『生物』（東京書籍）、『セミナー生物基礎＋生物』、『ニューステージ新生物図表』				
科目の到達目標	生物基礎との関連を図りながら，生物や生物現象を更に広範囲に取り扱い，生物学的に探求する能力と態度を身に付けさせる。また，生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。	学習の評価の方法	授業ノート、提出課題、実験レポート、発表、定期考査等を総合的に評価		
履修選択の注意事項	理系選択科目 理学部生物学科、農学部、看護医療系大学において入試科目に生物がある大学の受験を考えている者は、履修が望ましい。 【評価母集団】３学年選択者（理系）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第４編　生物の環境応答 ２章　動物の行動 ３章　植物の環境応答 第５編　生態と環境 １章　個体群と生物群集 ２章　生態系の物質生産とエネルギーの流れ ３章　生態系と生物多様性	・動物が体内外の情報を得て反応を起こすしくみを学習する。 ・ブタの眼の解剖（実験） ・動物のいろいろな行動とそのしくみについて学習する。 ・植物の環境応答の実際とそのしくみについて学習する。 ・生物の個体数が変動したり安定したりするすくみを，種内や種間での関係，および環境の影響に注目し学習する。 ・生態系における有機物の生産やエネルギーの流れと生物とのかかわりについて学習する。 ・生物多様性の意味とその減少がおきるしくみについて生態系とのかかわりをもとに学習する。
2学期	第６編　生物の進化と系統 １章　生命の起源と生物の変遷 ２章　進化のしくみ ３章　生物の系統 演習	・現在地球上にみられる多種多様な生物が，誕生後，どのような変遷をたどったか学習する。 ・生物の形質が世代を経るにつれて変化していく進化のしくみについて学習する。 ・生物の進化の道筋と，地球に生きる生物の多様性との関係性について学習する。 ・生物基礎も含んで、総合的に演習を行う。
3学期	演習	・生物基礎も含んで、総合的に演習を行う。

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	理科	科　　目	基礎生物	単位数	2
学年	３年	履修対象	文①、ＬＡＣ①		
教科書・副読本等	『生物基礎』（東京書籍）、『セミナー生物基礎』、『ニューステージ新生物図表』				
科目の学習到達目標	１生物の多様性を踏まえつつ，生物に共通する概念や原理・法則を理解する。 ２遺伝子・健康・環境など，日常生活や社会とのかかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。 ３観察，実験を通して生物や生命現象に対する畏敬の念を育む。	評価の方法	授業ノート、提出課題、実験レポート、発表、定期考査等を総合的に評価する。		
履修・選択の注意事項	基本的に国公立受験者や看護系受験者は対象としない。 【評価母集団】３学年文①およびＬＡＣ①				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第３編　生物の体内環境の維持 ３章　免疫	・自然免疫と適応免疫によって私たちの体が病原体などから身を守ることで，体内環境が維持されていることを学ぶ。 ・病原体などの体内への侵入を防ぐしくみや白血球による食作用によって病原体から身を守る自然免疫というしくみがあることを理解する。 ・細胞性免疫のしくみを理解し，臓器移植などでの拒絶反応が生じてしまうことを理解する。 ・体液性免疫のしくみと，抗体による抗原抗体反応によって抗原が無毒されるしくみを理解する。 ・免疫応答に異常をきたすと，アレルギーや自己免疫疾患，エイズなどを発症することを理解する。
	第４編　生物の多様性と生態系 １章　植生の多様性と分布	・植生は，年降水量と年間平均気温によって決まることを理解する。 ・植生は普遍的なものではなく，時間とともにその環境に適応した植物からなる植生へと変化していることを理解する。 ・観察実験９　遷移の過程でみられる植物の観察
	２章　気候とバイオーム	・植生を基盤として，動物や微生物の集まりができるため，似たような環境には，同じような相観のバイオームが形成されることを理解する。
	３章　生態系とその保全	・生態系の生物どうしは，食物連鎖でつながっており，その中を物質やエネルギーが移動していることを学ぶ。 ・炭素や窒素などの物質は，食物連鎖などを通じて，生態系の中を形を変えながら循環していることを理解する。 ・生物多様性にはさまざまな価値があるため，その保全が重要であることを理解する。
2学期	第１編　生物の特徴 第２編　遺伝子とそのはたらき 第３編　生物の体内環境の維持 第４編　生物の多様性と生態系	各編の発展項目を再び深く掘り下げて学び、あわせて復習も行う。
3学期		各編の内容を、演習などと利用し復習を行う。

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５度　シラバス

教科	理科	科　　目	基礎生物	単位数	2
学年	３年	履修対象	文②、ＬＡＣ②		
教科書・副読本等	生物基礎（東京書籍）、ニューステージ新生物図表				
科目の学習到達目標	１　生物の多様性を踏まえつつ，生物に共通する概念や原理・法則を理解する。 ２　遺伝子・健康・環境など，日常生活や社会とのかかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。 ３　観察，実験を通して生物や生命現象に対する畏敬の念を育む。	評価の方法	授業ノート、提出課題、実験レポート、発表、定期考査等を総合的に評価		
履修選択の注意事項	国公立受験を考えている者は履修することが望ましい。 【評価母集団】３学年文②およびＬＡＣ②				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第４編　生物の多様性と生態系 １章　植生の多様性と分布 ２章　気候とバイオーム ３章　生態系とその保全 第３編　生物の体内環境の維持	・植生は，年降水量と年間平均気温によって決まることを理解する。 ・植生は普遍的なものではなく，時間とともにその環境に適応した植物からなる植生へと変化していることを理解する。 ・観察実験９　遷移の過程でみられる植物の観察 ・植生を基盤として，動物や微生物の集まりができるため，似たような環境には，同じような相観のバイオームが形成されることを理解する。 ・生態系の生物どうしは，食物連鎖でつながっており，その中を物質やエネルギーが移動していることを学ぶ。 ・炭素や窒素などの物質は，食物連鎖などを通じて，生態系の中を形を変えながら循環していることを理解する。 ・生物多様性にはさまざまな価値があるため，その保全が重要であることを理解する。 ・第1学年で学んだ体内環境の維持について再び学び、器官どうしの関係や生体内で起こる反応の流れなどについて理解を深める。
2学期	第１編　生物の特徴 第２編　遺伝子とそのはたらき 第３編　生物の体内環境の維持 第４編　生物の多様性と生態系	各編の内容を、演習などを利用し復習を行う。
3学期		各編の内容を、演習などと利用し復習を行う。

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	理科	科　　目	化学の広場	単位数	2
学年	３年	履修対象	文②全員、文①・ＬＡＣ選択者		
教科書・副読本等	『基本セレクト化学基礎』（数研書籍）				
科目の学習到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，化学的に探究する能力と態度を育てるとともに，化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。	評価の方法	授業ノート、提出課題、発表、小テスト、定期考査等を総合的に評価		
履修・選択の注意事項	文②は全員履修、文①・LACは大学入学共通テストで理科の基礎科目を受験するものは選択すること。 課題を中心とした家庭学習をしっかりと行うこと。 【評価母集団】３学年文②および選択者（文①、国際教養コース）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第1編　物質の成り立ち 1章　物質の探求 2章　物質の構成粒子 3章　物質と化学結合 第2編　物質の変化 1章　物質量と化学変化 2章　酸と塩基 3章　酸化と還元	教科書の内容の復習を行う。 必要があれば適宜実験も行う。
2学期	共通テストに向けた総合演習	過去の入試問題を含めた総合演習を行う。
3学期	共通テストに向けた総合演習	過去の入試問題を含めた総合演習を行う。

令和５年度　シラバス

教科	理科	科　　目	サイエンス（化学）	単位数	2
学年	３年	履修対象	理系選択者		
教科書・副読本等	新編　化学				
科目の学習目標	個々の進路実現に向けて、実践的な問題に取り組むことにより、基礎力を確認し、応用力を身につける。	評価の方法	授業ノート、提出課題、小テスト、定期考査等を総合的に評価		
履修上の注意事項	・選択者が履修する。 ・復習と課題を中心とした家庭学習をしっかりと行うこと。 ・『化学・物理』または『化学・生物』の選択であり、これら2科目を2単位で行うため、授業は化学1時間/週、物理または生物1時間/週である。 ・成績は、2科目合算で評価する。 【評価母集団】３学年理系				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	・分子間に働く力 ・金属の結晶 ・イオン結晶 ・共有結合結晶 ・物質の状態変化 ・気体の法則 ・理想気体 ・蒸気圧	・水素結合の働く物質 ・結晶格子中の原子半径の計算 ・結晶格子を利用したアボガドロ数・分子量の計算 ・物質の三態に関わる現象の理解 ・ボイルの法則，シャルルの法則，気体の状態方程式を利用した計算問題 ・理想気体の挙動の理解 ・大気圧と蒸気圧との関係
2学期	・溶解度 ・水溶液の法則 ・熱化学方程式 ・金属のイオン化傾向 ・電池 ・電気分解 ・反応速度 ・化学平衡 ・非金属元素 ・金属元素	・水和水を含む結晶に関する計算問題 ・気体の溶解度を用いた演習 ・沸点上昇、凝固点降下，浸透圧の演習 ・ヘスの法則を中心とした演習 ・イオン化列を用いた演習 ・電池反応の量的関係 ・電気分解における量的関係 ・反応速度式と反応速度に関わる条件 ・化学平衡，電離平衡，溶解平衡に関わる問題 ・非金属元素の性質に関わる正誤問題 ・金属元素の性質に関わる正誤問題
3学期	・共通テスト	・共有テスト直前実践問題

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	理科	科　　目	サイエンス（物理）	単位数	2
学年	３年	履修対象	理系物理選択者		
教科書・副読本等	チェック＆演習　物理				
科目の到達目標	個々の進路実現に向けて、実践的な問題に取り組むことにより、基礎力を確認し、応用力を身につける。	学習の評価の方法	提出課題、小テスト、定期考査等を総合的に評価		
履修選択の注意事項	・選択者が履修する。 ・復習と課題を中心とした家庭学習をしっかりと行うこと。 ・『化学・物理』または『化学・生物』の選択であり、これら2科目を2単位で行うため、授業は化学1時間/週、物理または生物1時間/週である。 ・成績は、2科目合算で評価する。 【評価母集団】３学年理系				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	・力学(物理基礎範囲を含む) ・熱力学(物理基礎範囲を含む) ・波動(物理基礎範囲を含む) 主に上記の単元の問題演習を実施する	・運動 ・剛体を含む力のつり合い ・運動方程式 ・保存則(力学的エネルギー・運動量) ・熱量保存 ・気体の法則 ・気体の状態変化 ・波の性質 ・音波 ・光波
2学期	・電磁気(物理基礎範囲を含む) ・原子物理 主に上記の単元の問題演習を実施する	・静電気(物理基礎範囲を含む) ・電流回路 ・電流と磁場 ・電磁誘導 ・交流回路 ・電子と光 ・原子と原子核
3学期	・共通テスト	・共有テスト直前実践問題

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	理科	科　　目	サイエンス（生物）	単位数	2
学年	３年	履修対象	理系選択者		
教科書・副読本等	改訂　生物				
科目の到達目標	個々の進路実現に向けて、実践的な問題に取り組むことにより、基礎力を確認し、応用力を身につける。	学習の評価の方法	提出課題、小テスト、定期考査等を総合的に評価		
履修選択の注意事項	・選択者が履修する。 ・復習と課題を中心とした家庭学習をしっかりと行うこと。 ・『化学・物理』または『化学・生物』の選択であり、これら2科目を2単位で行うため、授業は化学1時間/週、物理または生物1時間/週である。 ・成績は、2科目合算で評価する。 【評価母集団】３学年理系				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	・タンパク質の構造と酵素 ・代謝とエネルギー ・DNAの構造と複製 ・遺伝情報の発現 ・計算問題演習	共通テストや国公立大学、近隣私大の過去の入試問題をもとに単元ごとに学習する。 問題を解く際には制限時間を設け、時間を意識して解くことができるようにする。
2学期	・生物の有性生殖 ・動物の発生とそのしくみ ・植物の発生 ・生命の起源と生物の変遷 ・進化のしくみ ・生物の系統	共通テストや国公立大学、近隣私大の過去の入試問題をもとに単元ごとに学習する。 問題を解く際には制限時間を設け、時間を意識して解くことができるようにする。
3学期	・共通テスト	・共有テスト直前実践問題

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	保健体育	科　　目	体育	単位数	2
学年	３年	履修対象	全員		
教科書・副読本等	現代高等保健体育（大修館）・図説現代高等保健（大修館）				
科目の到達目標	生涯を通じて継続的に運動を実践できる態度を育てる。選択制を通して生徒が自主的に生涯体育として認識し、活動できるようにする。		評価の方法	実技試験 授業中の取り組み	
履修・選択の注意事項	学校指定体操服着用 【評価母集団】３学年全員（理系、文①、文②、国際教養コース）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	A 体つくり運動 C 陸上競技 E 球技 ※その他に種目が増える可能性もある	・心と体は互いに影響して変化することに気付き、心や体の状態に応じて調子を整えるために運動をしたり、仲間と積極的に交流するための運動を行う。 ・自己の課題と体調に応じて適切な練習方法を選ぶことができる。陸上競技を継続して楽しむための自己に適したかかわり方を見付けることができる。 ・提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選ぶことができる。仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘することができる。
2学期	E 球技 H 体育理論	・提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選ぶことができる。仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘することができる。 ・スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。
3学期	E 球技	・作戦などの話合いの場面で，合意を形成するための適切なかかわり方を見付けることができる。健康や安全を確保するために，体調に応じて適切な練習方法を選ぶことができる。球技を継続して楽しむための自己に適したかかわり方を見付けることができる。

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	体育	科　　目	スポーツⅡ	単位数	2
学年	３年	履修対象	文①・ＬＡＣ選択者		
教科書・副読本等	現代高等保健体育（大修館）・図説現代高等保健（大修館）				
科目の到達目標	生涯を通じて継続的に運動を実践できる態度を育てる。選択制を通して生徒が自主的に生涯体育として認識し、活動できるようにする。		評価の方法	実技試験 授業中の取り組み	
履修・選択の注意事項	学校指定体操服 【評価母集団】３学年選択者（文①、文②、国際教養コース）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1・2・3学期	体つくり運動	・心と体は互いに影響して変化することに気付き、心や体の状態に応じて調子を整えるために運動をしたり、仲間と積極的に交流するための運動を行う。
	陸上競技	・自己の課題と体調に応じて適切な練習方法を選ぶことができる。陸上競技を継続して楽しむための自己に適したかかわり方を見付けることができる。
	武道	・自己の技能・体力の程度に応じた得意技を見付けることができる。武道を継続して楽しむための自己に適したかかわり方を見付けることができる。
	ダンス	・練習や動きを見せ合う発表などの際に、運動観察を通して仲間の課題を指摘したり、課題解決のアイディアを伝え合ったりしながら取り組むことができる。発表や仲間との交流の場面では、互いの違いやよさを指摘すること。
	球技	・提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選ぶことができる。仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘することができる。

令和５年度　シラバス

教科	外国語	科　　目	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	4
学年	３年	履修対象	一般クラス全員		
教科書・副読本等	『MAINSTREAM English Communication Ⅲ』（増進堂）『共通テストリスニング分野別10分二訂版』（エミル出版）				
科目の到達目標	英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし，社会生活において活用できるようにする。	学習評価の方法	・定期考査 ・小テスト ・授業への取り組み ・課題 上記を総合的に判断して評価する。		
履修上の注意事項	・２クラス３展開で授業を行う。（１クラス２展開の場合もある。） ・必ず予習をしてくること。 【評価母集団】３学年理系および文①、文②				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期		ディスコースマーカーについて理解し，文章の構成を考えながら，概要や要点をとらえることができる。
	・Lesson1	・The Legacy of KANO Jigoro。
	・Lesson2	・Microfinance　A Little Money Goes a Long Way
	・Lesson3	・Mona Lisa　The Way to Fame
	・Lesson4	・Less than 0.08%
	・Lesson5	・The Marshmallow Test
2・3学期	・Lesson6	・A Lucky Planet, Earth
	・Lesson7	・Expanding World Population
	・Lesson8	・Leave the Walls Alone
	・Lesson9	・Theories about Dinosaur Extinction
	・Lesson10	・What does the Tokyo Skytree Tell Us?
	・Lesson11	・Why Do We Lie?
	・Lesson12	・Sustainable Lifestyle of Edo Period
	・Lesson13	・How Have Butterflies Survived?
	・Lesson14	・Why Was Glass Not Made in China?
	・Lesson15	・E-readers VS. Paper Books

令和５年度　シラバス

教科	外国語	科　　目	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	3
学年	３年	履修対象	ＬＡＣ全員		
教科書・副読本等	『MAINSTREAM English Communication Ⅲ』(増進堂)『共通テストリスニング分野別10分二訂版』（エミル出版）				
科目の到達目標	英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし，社会生活において活用できるようにする。	学習の評価の方法	・定期考査 ・小テスト ・授業への取り組み ・課題 上記を総合的に判断して評価する。		
履修選択の注意事項	・１クラス２展開で授業を行う。 ・必ず予習をしてくること。 【評価母集団】３学年国際教養コース				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期		ディスコースマーカーについて理解し，文章の構成を考えながら，概要や要点をとらえることができる。
	・Lesson1	・The Legacy of KANO Jigoro。
	・Lesson2	・Microfinance　A Little Money Goes a Long Way
	・Lesson3	・Mona Lisa　The Way to Fame
	・Lesson4	・Less than 0.08%
	・Lesson5	・The Marshmallow Test
2・3学期	・Lesson6	・A Lucky Planet, Earth
	・Lesson7	・Expanding World Population
	・Lesson8	・Leave the Walls Alone
	・Lesson9	・Theories about Dinosaur Extinction
	・Lesson10	・What does the Tokyo Skytree Tell Us?
	・Lesson11	・Why Do We Lie?
	・Lesson12	・Sustainable Lifestyle of Edo Period
	・Lesson13	・How Have Butterflies Survived?
	・Lesson14	・Why Was Glass Not Made in China?
	・Lesson15	・E-readers VS. Paper Books

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	外国語	科　　目	英語表現Ⅱ	単位数	2
学年	３年	履修対象	文②・理系全員		
教科書・副読本等	『Polestar Ⅱ』『自分の力で書く入試英作文FINAL DRAFT』（いいずな書店）				
科目の学習到達目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。 ア与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 イ主題を決め、様々な種類の文章を書く。 ウ聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 エ多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。		評価の方法	・定期考査 ・小テスト ・授業への取り組み ・課題 上記を総合的に判断して評価する。	
履修選択の注意事項	・予習復習を行う。 ・課題を忘れずにする。 【評価母集団１】３学年理系 【評価母集団２】３学年文②				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）	評価のポイント
1学期	Part 2 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10	Topic　家族、交友関係、恋愛、結婚 Topic　食事、料理、外食、注文 Topic　服装、買い物 Topic　仕事、面接、試験、入学、卒業 Topic　運動、健康、病気 Topic　旅行、観光、交通、休暇 Topic　自然災害、環境問題 Topic　言語、民族、文化、国際社会、異文化理解 Topic　ニュース、メデイア Topic　文化遺産、伝統芸能、歴史	①コミュニケーションへの意欲・関心・態度 ②表現の能力：話すこと、書くこと ③理解の能力：聞くこと、読むこと ④言語の文化についての知識・理解
2学期・3学期	Part3 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7	1主題(topic)の理解 2説明/定義・分類の支持文の展開 3例示・列挙の支持文の展開 4比較･対照のパラグラフの構成 5原因と結果のパラグラフ 6時間の順序に従った支持文 7支持文の使い分け ディスカッション： ディスカッションの進め方／例 ディスカッションに役立つ表現／評価	①コミュニケーションへの意欲・関心・態度 ②表現の能力：話すこと、書くこと ③理解の能力：聞くこと、読むこと ④言語の文化についての知識・理解

3 学 期	Lesson 3 (Debate)	ディベート： ディベートの進め方 ディベートの準備 ディベートを行う上での注意点／判定／表現 Practice	①コミュニケーションへの意欲・関心・態度 ②表現の能力：話すこと、書くこと ③理解の能力：聞くこと、読むこと ④言語の文化についての知識・理解

令和５年度　シラバス

教科	外国語	科　　目	英語表現Ⅱ	単位数	2
学年	３年	履修対象	文①全員		
教科書・副読本等	『Polestar Ⅱ』『自分の力で書く入試英作文FINAL DRAFT』（いいずな書店）				
科目の到達目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。 ア与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 イ主題を決め、様々な種類の文章を書く。 ウ聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 エ多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。	評価の方法	・定期考査 ・小テスト ・授業への取り組み ・課題 上記を総合的に判断して評価する。		
履修選択の注意事項	・予習復習を行う。 ・課題を忘れずにする。 【評価母集団】３学年文①				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）	評価のポイント
1学期	Part 2 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10	Topic　家族、交友関係、恋愛、結婚 Topic　食事、料理、外食、注文 Topic　服装、買い物 Topic　仕事、面接、試験、入学、卒業 Topic　運動、健康、病気 Topic　旅行、観光、交通、休暇 Topic　自然災害、環境問題 Topic　言語、民族、文化、国際社会、異文化理解 Topic　ニュース、メデイア Topic　文化遺産、伝統芸能、歴史	①コミュニケーションへの意欲・関心・態度 ②表現の能力：話すこと、書くこと ③理解の能力：聞くこと、読むこと ④言語の文化についての知識・理解
2学期・3学期	Part3 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7	1主題(topic)の理解 2説明/定義・分類の支持文の展開 3例示・列挙の支持文の展開 4比較･対照のパラグラフの構成 5原因と結果のパラグラフ 6時間の順序に従った支持文 7支持文の使い分け ディスカッション： ディスカッションの進め方／例 ディスカッションに役立つ表現／評価	①コミュニケーションへの意欲・関心・態度 ②表現の能力：話すこと、書くこと ③理解の能力：聞くこと、読むこと ④言語の文化についての知識・理解

3 学 期	Lesson 3 (Debate)	ディベート： ディベートの進め方 ディベートの準備 ディベートを行う上での注意点／判定／表現 Practice	①コミュニケーションへの意欲・関心・態度 ②表現の能力：話すこと、書くこと ③理解の能力：聞くこと、読むこと ④言語の文化についての知識・理解

令和５年度　シラバス

教科	外国語	科　　目	英語表現Ⅱ	単位数	2
学年	３年	履修対象	国際教養コース全員		
教科書・副読本等	『PolestarⅡ』『四訂版入試必携英作文 Write to the Point』（数研出版）				
科目の学習到達目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。 ア与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 イ主題を決め、様々な種類の文章を書く。 ウ聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 エ多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。		評価の方法	・定期考査 ・小テスト ・授業への取り組み ・課題 上記を総合的に判断して評価する。	
履修選択の注意事項	・予習復習を行う。 ・課題を忘れずにする。 【評価母集団】３学年国際教養コース				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）	評価のポイント
1学期	Part 2 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10	Topic　家族、交友関係、恋愛、結婚 Topic　食事、料理、外食、注文 Topic　服装、買い物 Topic　仕事、面接、試験、入学、卒業 Topic　運動、健康、病気 Topic　旅行、観光、交通、休暇 Topic　自然災害、環境問題 Topic　言語、民族、文化、国際社会、異文化理解 Topic　ニュース、メデイア Topic　文化遺産、伝統芸能、歴史	①コミュニケーションへの意欲・関心・態度 ②表現の能力：話すこと、書くこと ③理解の能力：聞くこと、読むこと ④言語の文化についての知識・理解
2学期・3学期	Part3 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7	1主題(topic)の理解 2説明/定義・分類の支持文の展開 3例示・列挙の支持文の展開 4比較･対照のパラグラフの構成 5原因と結果のパラグラフ 6時間の順序に従った支持文 7支持文の使い分け ディスカッション： ディスカッションの進め方／例 ディスカッションに役立つ表現／評価	①コミュニケーションへの意欲・関心・態度 ②表現の能力：話すこと、書くこと ③理解の能力：聞くこと、読むこと ④言語の文化についての知識・理解

3 学 期	Lesson 3 (Debate)	ディベート： ディベートの進め方 ディベートの準備 ディベートを行う上での注意点／判定／表現 Practice	①コミュニケーションへの意欲・関心・態度 ②表現の能力：話すこと、書くこと ③理解の能力：聞くこと、読むこと ④言語の文化についての知識・理解

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	外国語	科　　目	発展英語	単位数	2
学年	３年	履修対象	文①・ＬＡＣ選択者		
教科書・副読本等	Cutting Edge Green（エミル出版）				
科目の到達目標	総合入試問題の演習を通して、共通テストおよび中堅私大入試に対応できる実践力を身に着ける。	評価の方法	・定期考査 ・授業への取り組み ・課題 上記を総合的に判断して評価する。		
履修選択の注意事項	・英語の力をさらに伸ばしたい人向けである。 ・毎回の予習が求められる。 【評価母集団】３学年選択者（文①、文②、ＬＡＣ①）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8	問題演習、解答、解説を行う。 以下は主なトピック 食事とCO_2 必要水分量 英語の変遷 トランスヒューマン 絶滅危惧種の選定 嘘も方便 火の制御とその効果 老人ホームへの贈り物
2学期	Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12 Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15 Lesson 16	生活資金 アフリカのブランド商品 サンゴ礁 緑色の血液 文明の隆盛 豪華客船の沈没 教育と報酬 自動運転車
3学期	Lesson 17 Lesson 18	睡眠の常識 幸福感

令和５年度　シラバス

教科	外国語	科　　目	英語で学ぼう	単位数	3
学年	３年	履修対象	ＬＡＣ選択者		
教科書・副読本等					
科目の到達目標	身近な話題から時事問題まで、幅広く英語で学び、それに対する自分の考えを英語で表現したり、テーマを決め、調べた内容を英語で説明したりする能力を養う。	評価の方法	授業への参加、課題の提出、プレゼン発表等を総合的に判断して評価する。		
学習上の注意事項・履修選択	ペアワーク、グループディスカッション、発表等の活動に積極的に参加することが求められる。 【評価母集団】３学年選択者（ＬＡＣ①）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	英語の文章・映像等の読解・理解 歴史、地理など様々なテーマの調べ学習、発表活動、質疑応答活動	・英語を使ったコミュニケーションゲームを行い、グループごとに評価を行う。 ・自分の得意なことについて英語で教える活動を行い、その指導と生徒の習得状況を評価する。 ・英語のニュースを視聴し、語いや内容についての理解を確認し、グループ内で意見を出し合い、全体で発表する。 ・自分たちになじみのない国についてグループで調べ、旅行計画をたて、発表を行い、発表について質問をし合う。 ・自分が行った発表について、学んだこと、感想などを振り返りエッセイに書く。
2・3学期	英語の文章・映像等の読解・理解 調べ学習、発表活動、質疑応答活動	・様々な分野の英語のプレゼンテーションやスピーチを聞いて、グループ内でその内容をまとめ、意見を述べあう。 ・自分の進路希望や志望理由について英語で発表できるようにする。グループ内で、生徒役と面接官になり、そのやり取りを互いに評価する。 ・自分に影響を与えた人物や歴史上の人物や出来事について、調べて発表し、内容に関しての質疑応答を行う。 ・世界で起こっている問題について、グループでテーマを絞って探究し、考察、意見交換を行い、全体で発表する。 内容に関する質疑応答後、エッセイライティングを行う。 ・自分が行った発表について、学んだこと、感想などを振り返りエッセイに書く。

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	外国語	科　　目	フランス語Ⅱ	単位数	2
学年	３年	履修対象	LAC選択者		
教科書・副読本等	『Adosphere Niveau!』（アシェット・ジャポン）				
科目の到達目標	2年生で学習した内容の理解をさらに深め、新たに学習する事柄も加えて、さらなるフランス語の発展を目指す。	評価の方法	定期考査と平常点（宿題、ノート、グループワーク、発言、発表）		
履修選択の注意事項	授業中の積極的な態度を望みます。 【評価母集団】３学年選択者（ＬＡＣ①）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	前年度の復習 各課	○すでに学んだ内容を再確認して、さらに理解を深める。 ○テキストの会話文を実際に演じてみる。 評価のポイント 基本の語彙や文法を習得し、表現できているか。
2学期	各課	○既習事項を利用して、いろいろな場面でフランス語を使い表現する。 ○フランス語コンクールの課題を実際に演じてみる。 評価のポイント 積極的に授業に参加しているか。
3学期	まとめ	○２年間のまとめ ○映画鑑賞を通して、フランスとフランス語圏の文化社会について発見する。

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	家庭	科　　目	子どもの発達と保育	単位数	2
学年	３年	履修対象	文①　LAC選択者		
教科書・副読本等	子どもの発達と保育（ 実教出版）				
科目の到達目標	子どもの発達の特性について知識を習得させ、子育てに寄与する能力と態度を育てる。	評価の方法	定期考査・実習・レポートにより行う。		
履修選択の注意事項	実習費1500円程度が必要。 【評価母集団】３学年選択者（文①、国際教養コース）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	２章 子どもの 発達の過程 ４章 子どもの保育	・運動機能・感覚機能・情緒などの心の発達をとらえる。 ・愛着関係の形成過程について学び、人間関係の広がりについて考える。 ・家庭保育・集団保育の意義と形態・保育内容について知る。 ・保育検定3・4級受験（絵本の読み聞かせ、造形表現） 定期考査・個人製作および授業への取り組みにより評価を行う。
2学期	１章 子どもの 発達の特性 ３章 子どもの生活	・乳幼児期の発達の重要性を知る。 ・乳幼児期の生理的特徴を知る。 ・乳幼児の生活習慣や遊びなどについて理解する。 ・乳幼児の病気や事故について知る。 定期考査・集団製作および授業への取り組みにより評価を行う。
3学期	５章 子どもの福祉	・子どもが健全に育つために必要な支援を考える。 定期考査・個人製作および授業への取り組みにより評価を行う。

令和５年度　シラバス

教科	家庭	科　　目	フードデザイン	単位数	2
学年	３年	履修対象	文①　文②　ＬＡＣ①		
教科書・副読本等	『フードデザイン　新訂版』（実教出版） 『イラスト調理ブック』（実教出版）				
科目の到達目標	栄養素と栄養バランス、食事摂取基準、食文化、食生活の現状と課題を理解し、実践に結び付けられるようになる。	評価の方法	定期考査・実習・レポートにより行う。		
履修上の注意事項・選択	実習費5000円程度が必要。 【評価母集団】３学年選択者（文①、文②、国際教養コース）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	３章 食品の 特徴・表示・安全 ４章 調理の基本 調理実習	・食品について知識を深める。 ・調理操作について学ぶ。 定期考査・実習への取り組みおよびレポートで評価する。
２学期	１章 食生活と健康 ２章 栄養素の はたらきと 食事計画 ５章 テーブル コーディネート 調理実習	・栄養と消化について学ぶ。 ・和洋中の料理の特徴とマナーを学ぶ。 定期考査・実習への取り組みおよびレポートで評価する。
３学期	調理実習	・伝統食・行事食について学ぶ。

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	情報	科　　目	情報活用実践	単位数	2
学年	３年	履修対象	文①		
教科書・副読本等	『新「情報」活用テキスト』（Ｐ検協会）				
科目の到達目標	ソフトの使い方を通して、情報の取捨選択、主体的に活用する能力を身につけさせる。プレゼンテーションから、他人とのコミュニケーションに必要な力を身につけさせる。	評価の方法	授業への取り組み（関心・意欲・態度）、課題提出等により総合的に評価		
履修の注意事項	提出課題をしっかりこなし、提出すること。 自ら積極的に学習する意欲があり、コンピュータの知識、技能を将来必要とするものが望ましい。 Ｐ検３級受験対応 【評価母集団】３学年選択者（文①）				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	Wordの基礎 Excelの基礎	Wordの基本的な使い方 ・文書の作成・文書の設定 ・ビジュアルコンテンツの操作 ・文書を整理 Excelの基本的な使い方 ・データの作成・数式の作成 ・データと内容の書式設定 ・データの視覚的表示
2学期	情報の基礎知識 プレゼンテーション （PowerPointの基礎） Webページ作成 （プログラミング）	・コンピュータ知識 ・情報通信ネットワーク ・情報モラルと情報セキュリティ ・ICTプロフィシエンシー PowerPointの基本的な使い方 スライドの作成・発表 HTMLの基礎 Javascriptの基礎
3学期	Webページ　作品発表	作成したWebページの紹介